

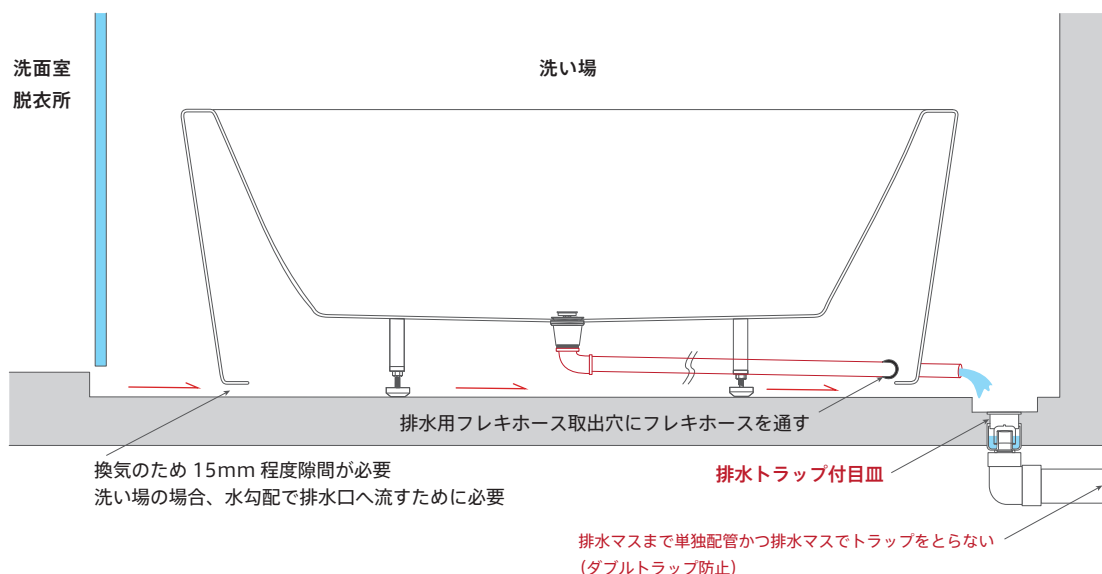
置型バスタブ排水トラップ施工注意事項

⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

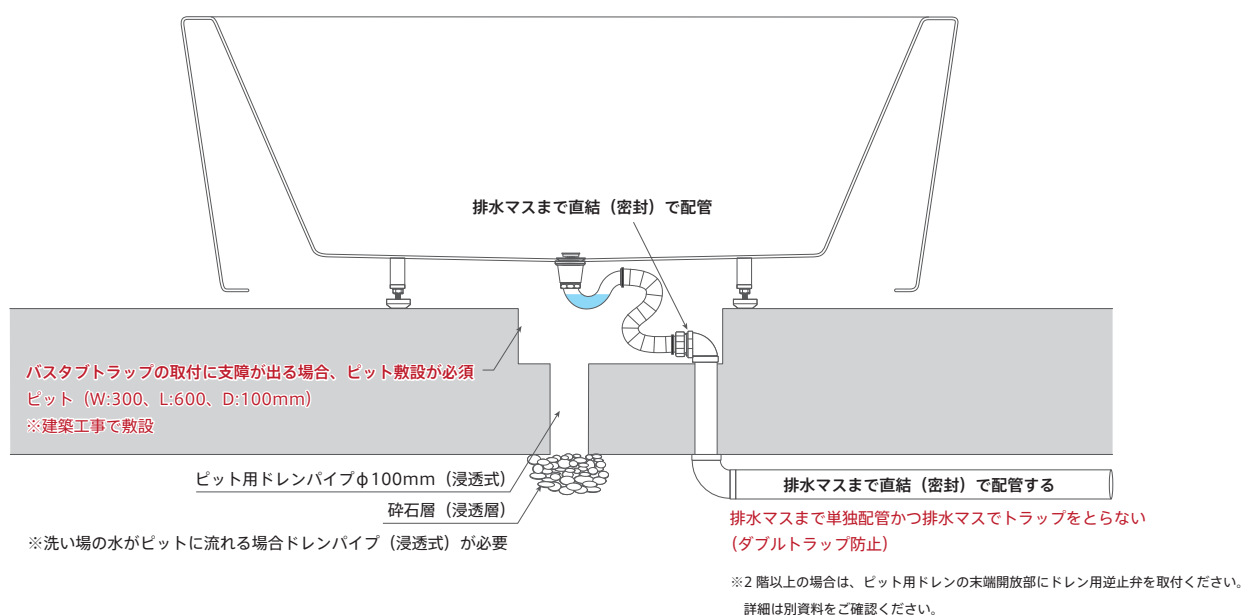
○ 正しい施工例 1 (仕様書に忠実な施工)

置型バスタブは、開放排水・直結排水ともにバスタブ下部の床を定期的に掃除できるような構造を推奨します。(汚れが蓄積することで悪臭の原因)
※排水方法についての詳細は、別資料【開放排水方法 参考図】及び【直結排水方法 参考図】をご確認ください。

開放排水 施工参考図



直結排水 施工参考図



置型バスタブ排水トラップ施工注意事項

⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

○ 正しい施工例（現場によって対応可能な施工方法）

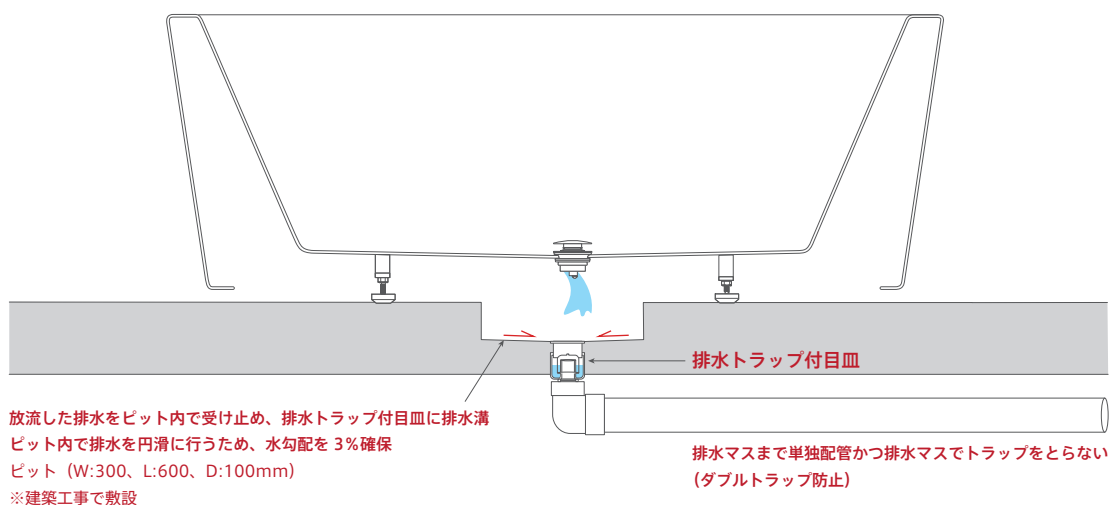
置型バスタブは、開放排水・直結排水ともにバスタブ下部の床を定期的には掃除できるような構造を推奨します。（汚れが蓄積することで悪臭の原因）
※排水方法についての詳細は、別資料【開放排水方法 参考図】及び【直結排水方法 参考図】をご確認ください。

開放排水 排水溝ピット付き

バスタブ排水から直下にあるピットに敷設された排水トラップ付目皿へ排水する方法。

トラップは排水トラップ付目皿でのみとる。排水マスでトラップをとり、ダブルトラップとにならないように注意する。

※この方法の場合、ピット内に設置された排水トラップ付目皿の掃除を定期的に行うことが必須。不衛生になると、悪臭・バスタブ変形の恐れがあります。

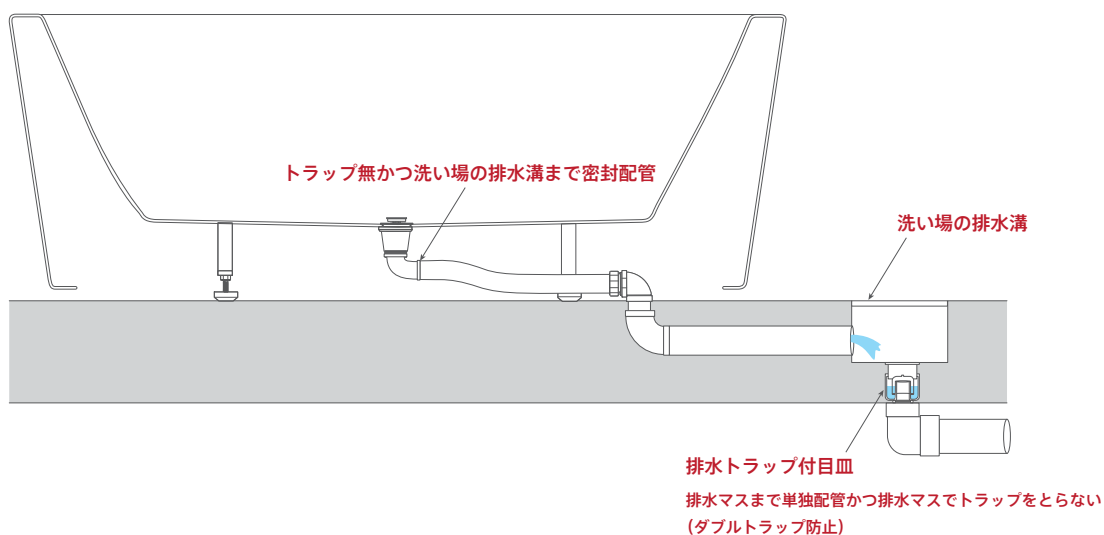


直結（トラップ無）+ 開放排水

洗い場に敷設された排水溝まで直結配管して、排水溝にある排水トラップ付目皿へ排水する方法。

排水マスまで単独配管でとり、集合排水しないでください。排水マスでトラップをとらないでください。

※この方法の場合、排水溝内及び排水トラップ付目皿の掃除を定期的に行うことが必須。不衛生になると、悪臭・バスタブ変形の恐れがあります。



置型バスタブ排水トラップ施工注意事項

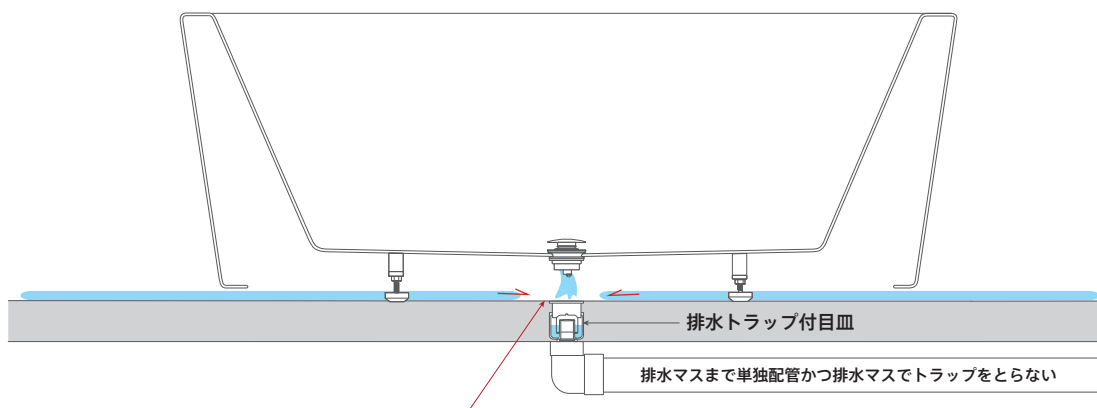
⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

× やってはいけない 施工失敗例 1：ピット敷設無しの施工

置型バスタブは、開放排水・直結排水ともにバスタブ下部の床を定期的に掃除できるような構造を推奨します。(汚れが蓄積することで悪臭の原因)
本項の施工失敗事例の施工は、絶対に行わないでください。本項の失敗事例によって起こったバスタブの不具合は、製品保証対象外になります。

開放排水 ピット無し

床下ピットが無い場合、開放排水から大量の水が放流されるため、排水用ピットがなければ排水効率が悪くなります。
当社置型バスタブの場合、製品に関わらずピットを敷設して排水効率を考慮した排水計画を行ってください。

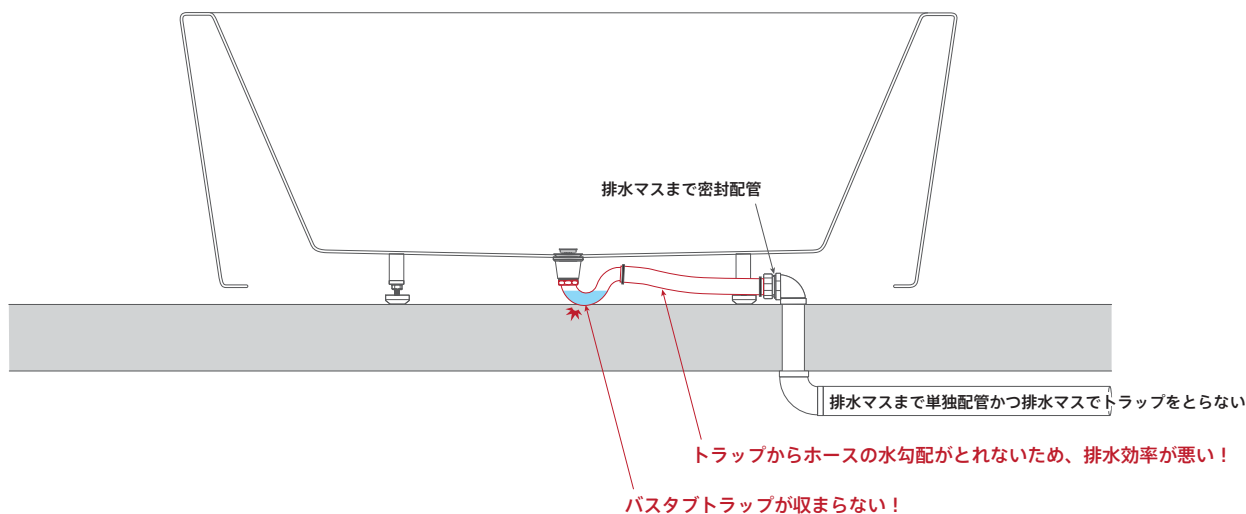


開放排水で放流した水を効率よく排水するために、排水溝としてのピットを設ける

※排水効率が悪いと、浴室または洗い場中に水が溢れてしまい、隣室へ流れてしまう恐れがあります。

直結排水 ピット無し

床下ピットが無い場合、バスタブ下部の空間が狭い製品では排水勾配が取りにくく排水効率が悪くなります。
当社置型バスタブの場合、製品に関わらずピットを敷設して排水効率を考慮した排水計画を行ってください。



置型バスタブ排水トラップ施工注意事項

⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

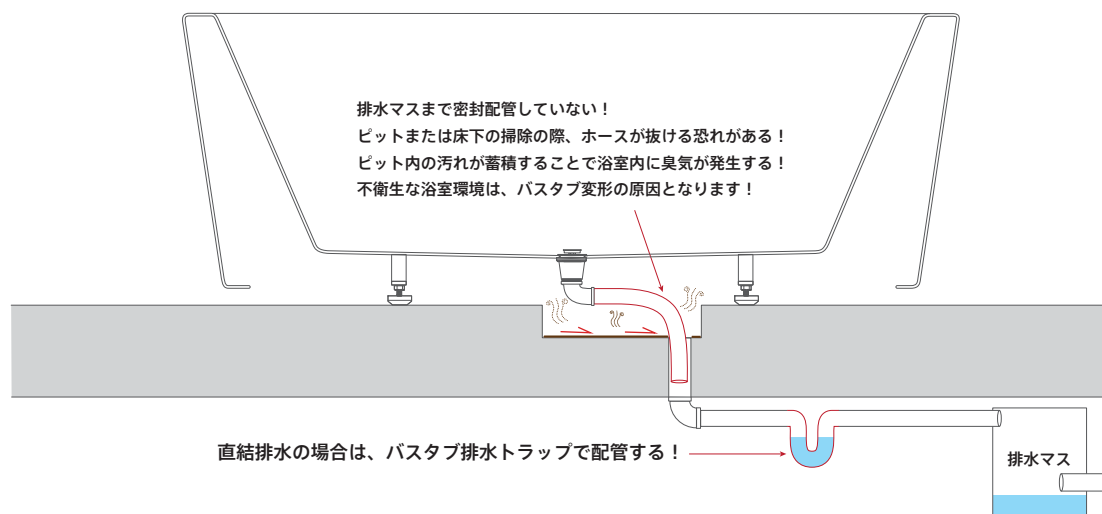
× やってはいけない 施工失敗例 2：非密封配管

置型バスタブは、開放排水・直結排水ともにバスタブ下部の床を定期的に掃除できるような構造を推奨します。(汚れが蓄積することで悪臭の原因)
本項の施工失敗事例の施工は、絶対に行わないでください。本項の失敗事例によって起こったバスタブの不具合は、製品保証対象外になります。

直結排水 非密封配管①

ビットまたは床下の掃除が不可能な排水方法は、不衛生でありバスタブ変形の原因となります。

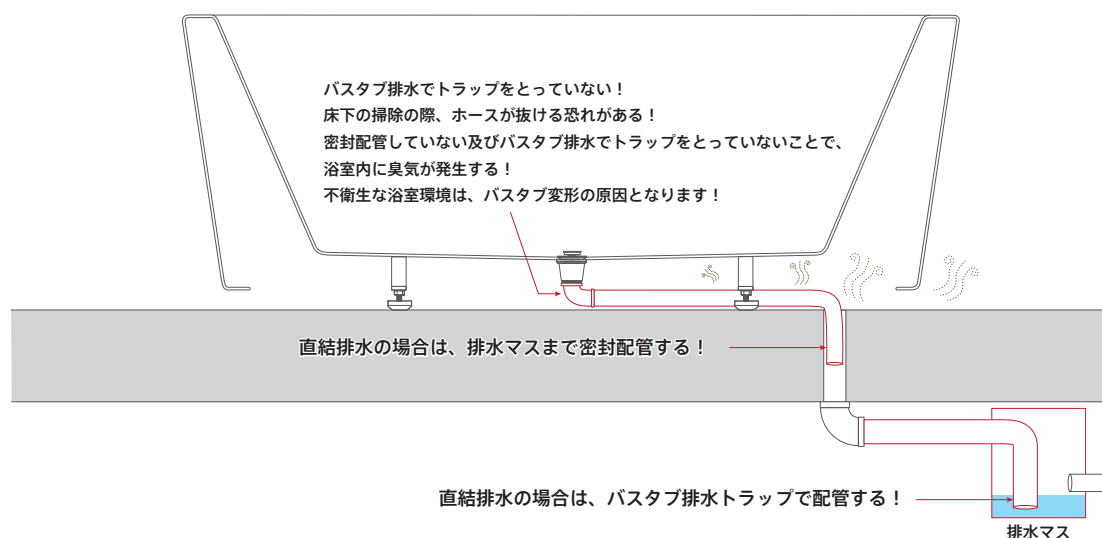
直結排水の場合は、バスタブ排水にトラップを設けて排水マスまで密封して配管してください。



直結排水 非密封配管②

バスタブ排水でトラップをとらず、排水マスでトラップをとっている。密封配管していないことで、浴室内に臭気が広がります。

直結排水の場合は、バスタブ排水にトラップを設けて排水マスまで密封して配管してください。



置型バスタブ排水トラップ施工注意事項

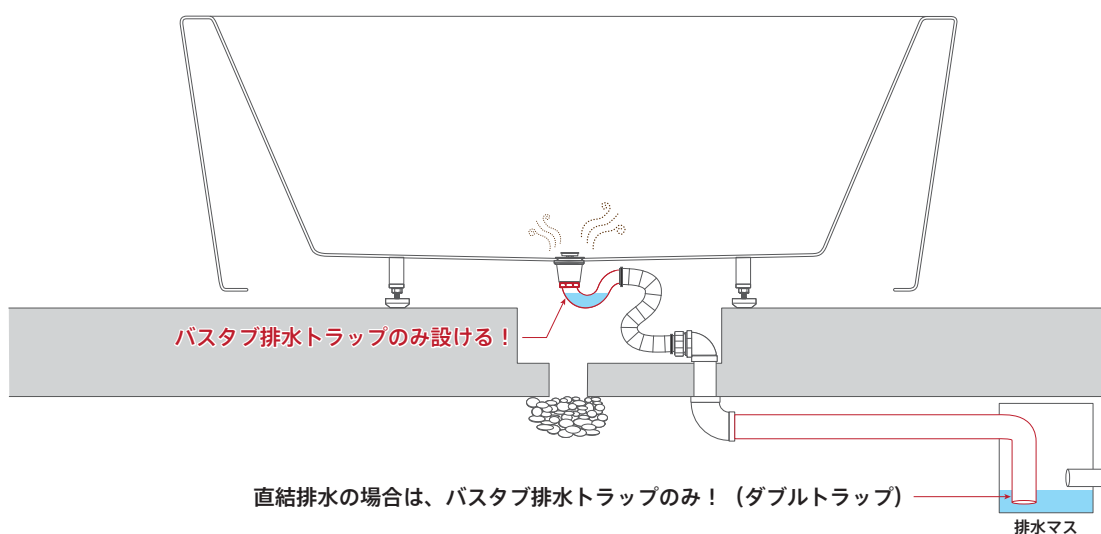
⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

× やってはいけない 施工失敗例 3 : ダブルトラップ

置型バスタブは、開放排水・直結排水ともにバスタブ下部の床を定期的な掃除ができるような構造を推奨します。(汚れが蓄積することで悪臭の原因)
 本項の施工失敗事例の施工は、絶対に行わないでください。本項の失敗事例によって起こったバスタブの不具合は、製品保証対象外になります。
 ダブルトラップとは、トラップ間の空気が抵抗になり、排水の流れの抵抗が増大して排水不良の原因となる状態のことです。
 排水時にトラップの封水が流れてしまい、バスタブ排水口から臭気が発生します。

直結排水 ダブルトラップ①

排水トラップは、バスタブ排水トラップのみ設けてください。排水マス等でトラップをとらない。
 ダブルトラップになっている場合、排水処理に支障が出てしまい、かつ浴室内に臭気が充満してしまいます。



直結排水 ダブルトラップ②

推奨の排水トラップの施工をしている場合でも、ダブルトラップになっている場合があります。
 排水の配管経路においてトラップが発生しない配管を行ってください。

